

日清食品カップ 第42回石川県小学生陸上競技交流大会
第42回 石川県小学生陸上競技大会要項

1. 主催 一般財団法人 石川陸上競技協会
2. 後援 公益財団法人 日本陸上競技連盟
公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
石川県教育委員会、北國新聞社
3. 協賛 日清食品ホールディングス株式会社
4. 日時 令和8年9月6日(日) 受付 午前 7時より
(受付は8時までに完了させること)
開門 午前 7時より
(補助競技場も同時刻。開門は天候より
早まる場合がある)
開会式 午前 9時00分
競技開始 午前 9時30分
5. 会場 石川県西部緑地公園陸上競技場
6. 種目 男女別 4年 100m、*5年 100m、*6年 100m、*友好 100m、
5年 1000m、6年 1000m
*コンバインド A(80mH、走高跳)、
*コンバインド B(走幅跳、ジャベリックボール投)
*男女混合 4×100m リレー
男子 4×100m リレー、女子 4×100m リレー
(*印は全国大会種目。友好 100m はリレーで優勝したチームの選手が全国大会
へ進む)
7. 出場資格 (1) 日常的に活動しているクラブチームや小学校チームとし、郡市町等の選抜チ
ームの出場は認めない。(活動とは所属ではなく、練習をしている事を言う。
能登震災を受け居住地を離れ居ている者は、これに該当しない。)
(2) 対象は小学校4・5・6年生に該当する年齢であること。
(3) 同一人の出場はリレーを含めて2種目までとする。(注参照)
出場制限
① 出場できる組み合わせは「個人種目1種目+リレー1種目」まで
とする。
② 全国大会種目を2種目兼ねて出場することはできない。
(4) 男女混合リレーの参加は、各クラブ・小学校から2チームまでとする。
(5) 男女混合リレーにおいて、小学校単位参加のチームが2チーム枠を超え
て今大会に向けて新たにクラブチームを編成し参加する事は出来ない。
(6) 1000m とコンバインド A・B の参加は5年生と6年生とする。
(7) リレー種目は各クラブ2チームまでとする。
(8) 全国大会種目については日本陸上競技連盟小学生登録を終えている者。

8. リレーチーム編成

各クラブの出場は2チームまでとする。

混合リレー

- (1) 小学校5・6年生に該当する年齢で男女各3名1チーム6名とし、そのうち男女各2名が出走する（6名でのエントリーが望ましい）
- (2) チーム6名の内、当日オーダー用紙に載らない補員の選手は友好100mに出場ができる。（友好レースは男女別に行う）
- (3) 当日、リレーに出走する人数が揃わない場合は、全員が友好レースに出場することができる。

男女リレー

補員の選手の友好レースは実施しない。

9. 競技方法 (1) 5年、6年の男女100m、男女混合リレーについては予選を行い、記録上位1位から8位でA決勝、9位から16位でB決勝を行う。

4年100m、5年1000m、6年1000m、男子4×100mリレー、女子4×100mリレーはタイムレース決勝とする。

- (2) 競技に際してはオールウェザー用スパイク又はシューズを使用すること。裸足の参加は認めない。日本陸連の定めるシューズ規則143条は適用しない。
- (3) スタートは同じ競技者が2回不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。（失格した選手もレースに参加出来るが、順位からは除外する。記録は公認される。）
- (4) リレー競走におけるテークオーバーゾーンは30mとする。
- (5) 80mハードルは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからゴールまで11mとする。
- (6) 走幅跳は2回まで試技とする。
- (7) 走高跳（はさみ跳び）はマットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。また、自分が申告した高さから試技を開始し、同じ高さを2回失敗した時点で終了とする。競技開始の高さは95cmとする。（練習は90cm）
- (8) ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。助走距離は15m以内とする。
- (9) コンバインドAとBは、2種目の合計得点により順位を決定する。

各種目の得点は『JAAF小学生混成競技得点表』による。

*『JAAF小学生コンバインド種目得点表（2022年度改訂）』は日本陸上競技連盟ホームページに公開。

80mHと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。

スタートまたは試技を行い、途中棄権、記録無し、失格および参考記録の場合、得点は0点とする。

1種目で欠場した(スタートまたは試技を行わない)競技者は、2種目目には出場できない。

合計得点が同点の場合は、同順位とする。

- (10) 2026年度日本陸上競技連盟競技規則にて新設されたTR24.11については適用外とする。

(※TR24.11：4×100m 男女混合リレーは男女各2名で編成し、走順は男子ー女子ー男子ー女子とする。)

以上により、本大会及び日清食品カップ全国小学生陸上競技交流大会における男女混合4×100mリレーの走順は、従来どおり任意とする。

10. 参加費 一人500円とする。(選手の傷害保険は各所属または各自で加入すること)

11. 参加申込 (1) 参加申込書は参加チームごとに、データに記入し下記にメール送信する。

令和8年8月10日(月)必着とする。

申込書式は後日、石川陸協ホームページに掲載する。

申込書の参考記録は必ず記入こと。

(例年の各郡市申込では無いので注意すること)

申込期日は厳守すること。

(送付先) 〒921-8011 金沢市入江1-567 野村泰裕(自宅)まで

(メールアドレス) nomuy@gamma.ocn.ne.jp (携帯) 090-2832-8911

- (2) 参加料は下記郵便振替口座に郵便局で振込用紙に所属チーム名・代表者名及び通信欄に『県小学生陸上大会』を記入の上、必ず8月10日(月)までに振り込むこと。

郵便振替口座番号：00750-3-46404

郵便振替口座名称：(一財)石川陸上競技協会

- (3) データ申込すること。

申込みに関することは上記 野村泰裕 まで

申込を確認しましたら「参加申し込みを受け付けました」という返信をします。数日経って返信がない場合は至急ご連絡ください。

大会運営に関することは 小川智明(携帯)090-6817-5057 まで連絡下さい。

12. 表彰 各種目8位まで表彰する。友好100mは表彰を行わないが記録は公認される。

13. 全国大会 全国大会種目の1位の選手は、11月21日~23日(競技会は22日)に国立競技場で行われる全国小学生陸上競技交流大会(旅費不要)への石川県代表選手団としての出場権を得る。出場辞退の場合には、次順位の選手が出場権を得る。県大会終了後、全国大会の説明会を行うので、出場権を得た選手、保護者、所属チーム・学校の代表者は出席すること。

14. 映像・動画・画像の撮影と使用について

本大会主催者及び日本陸上競技連盟いずれかが認めた報道機関や大会の協賛・後援の各団体が撮影した大会の映像・動画・画像・記事・個人情報等を、主催者および主催者が認めた第三者が大会運営および宣伝等の目的で、大会ポスター・プログラム・パンフレット・大会報告等への使用、およびテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・SNS・ホームページ等の媒体に掲載することがある。

15. その他 (1) 2026年度日本陸上競技連盟競技規則に準じ、大会申合せ事項・注意事項及び教育的配慮の元に競技を進行する。

- (2) アスリートビブス(ナンバーカード)は主催者で準備する。
- (3) スタートは英語コールで行う。
- (4) スタートはクラウチングスタートのみとし、スターティングブロックを使用しない場合も認める。(スタンディングスタートの禁止)
ただし、コンバインドA80mHはスタンディングスタートを認める。
- (5) 開会式には各チーム・学校の代表選手1名、指導者1名が必ず出席すること。
- (6) 競技中に発生した傷害疾病の緊急措置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。心疾患等で医師から運動を止められている者は参加できない。
(大会終了後の治療に関わる保険には、出場者、各チームにおいて加入する)
- (7) 個人情報の取得と使用について
本大会主催者は、個人情報保護に関する法律および関連法令等を遵守して個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (8) タイムスケジュール、駐車場使用について等の公開は、申込締切後となる。
- (9) 全ての競技施設において、前日からの場所取りは認めない。
- (10) 本要項と共に、大会前に公開する、監督・競技者注意事項を参照すること。

補足：出場種目組み合わせに関して

【参加可能な例】

- ・100m(4年生含む)+男子(女子)リレー
- ・コンバインド種目+男子(女子)リレー
- ・1000m+混合リレー(友好100m)または男子(女子)リレー

【参加不可の例】

- ・コンバインド種目と1000m
- ・混合リレーと男子(女子)リレー
- ・100mと1000m
- ・全国種目同士の兼ね参加

県代表は、個人の能力だけでなく、日頃の練習を通じたチームへの貢献と代表としての自覚を持つことが求められる。よって、大会参加資格は「所属団体において日常的に指導を受け、活動を共にしている者」に限定する。他競技との兼ね合いがある選手については、選考前に所属クラブ代表者と協議し、代表決定後の練習計画について合意を得ておくものとする。